



## よくあるご質問

### 製品について

Q. HD プロテクトの特長を教えてください。

A. HD プロテクトは、主要な抗がん剤 10 種類を素早く分解します。刺激性がなく安全性が高いため、安全に様々なところに使用することができます。また、金属腐食性が軽微のため、中和のための二度拭きが必要なく手軽にお使いいただけます。

Q. 金属腐食性はどの程度ですか？

A. HD プロテクトは中性に近い弱酸性に調整されているため金属に影響を与えにくく、使用方法として案内している内容であれば金属腐食は確認されません。ただし、HD プロテクトに漬け置く、スプレー後に拭き取らないなどの使用方法外の使用は避けてください。

Q. 使用期限はどのくらいですか

A. ボトル裏面に記載されている製造年月日から 1 年間、開封後は 3 ヶ月を目安にご使用ください。また、保管時は直射日光を避けて常温で保管してください。

Q. HD プロテクトを使用した清掃は抗がん剤曝露対策に有効ですか？

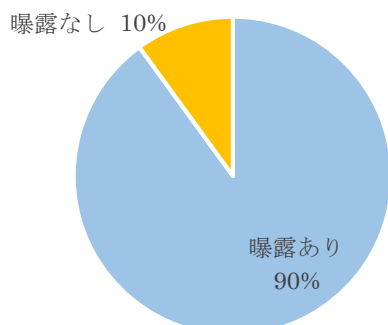
A. 抗がん剤は人体に対する発がん性があることが知られています。医療現場では、抗がん剤による職業性曝露のリスクが懸念されています。特に調剤や与薬作業などに従事する薬剤師、抗がん剤治療患者のケアを行っている看護師への曝露が問題となっています。毎日の清掃に HD プロテクトを使用することは、抗がん剤による曝露リスクを減らし安全・安心の医療現場づくりに役立ちます。

Q. 医療現場における抗がん剤曝露の実態について調査などは行われていますか？

A. 2021 年、弊社が地域がん診療拠点病院など 10 施設を対象に行った抗がん剤曝露調査では、9 施設で抗がん剤曝露が見られました。また計 40 カ所のうち 26 カ所 (65%) において抗がん剤曝露が見られました。個人防護に加え、閉鎖式器具や安全キャビネットなどの対策を取られていても抗がん剤曝露が見られることから、抗がん剤分解薬を用いた清掃を加えていく必要があると考えます。

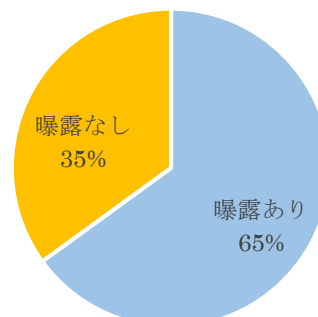
<抗がん剤曝露が見られた施設の割合>

(10 施設中)



<抗がん剤曝露が見られた調査カ所の割合>

(40 カ所中)



Q. どのような場所で抗がん剤曝露が発生していますか？

A. 抗がん剤曝露は、抗がん剤を扱う様々な場所で起こりえます。特に、薬剤部の安全キャビネット内、安全キャビネット下の床面、トレイ、PC・マウス・キーボード、化学療法室のプライミング作業台、点滴台周辺の床面、病棟の作業台、ベッドサイドといった箇所が挙げられます。

#### 使用方法について

Q. 抗がん剤治療を行っている患者さんの着衣やリネン類に使用できますか？

A. リネン類にもお使いいただけます。付着箇所にまんべんなくスプレーした後、洗濯してください。

Q. パソコン（キーボードやマウス）に噴霧しても大丈夫ですか？

A. 直接の噴霧は避けてください。HD プロテクトを清潔な布やガーゼなどにスプレーしてから拭きとってください。噴霧量の目安は5回くらいです。

Q. 噴霧量の目安を教えてください。

A. 大き目の水滴ができるくらいが目安です。

#### 安全性について

Q. 「刺激性がない」の根拠を教えてください。

A. 財団法人日本食品分析センターにて、眼刺激性試験、皮膚一次刺激性試験、皮膚累積刺激性試験を行い、いずれも「刺激性なし」との結果を得ています。

Q. 「安全性が高い」の根拠を教えてください。

A. 財団法人日本食品分析センターにて、毒性試験、感作性試験、細胞毒性試験、変異原性試験を行い、いずれも問題がないことを確認しています。また、Ames 試験にて有害な分解生成物がないことも確認しています（シミックファーマサイエンス(株)委託試験）

Q. 分解効果が確認されている 10 種類以外の抗がん剤に対して HD プロテクトを使用した場合に、汚染を広げてしまうような悪影響はありませんか？

A. HD プロテクトは、万遍なく噴霧した後、水滴をペーパータオル等で拭き取って使用します。分解効果が確認されていない薬剤に対して使用した場合でも、拭き取ることによって、汚染状況は低減されます。

Q. 目に入ったときの対処方法は？

A. 水で洗い流してください。異常のある場合は医師に相談してください。

Q. 誤って飲み込んでも問題ありませんか？

A. HD プロテクトの成分は飲料水と食品添加物です。刺激性がなく安全性が高いことが確認されておりますが、飲料用ではありませんので誤飲には十分にご注意ください。

Q. 消毒用のアルコールや清掃用の洗剤などと混ざること、有害なガスや物質が発生することはありますか？

A. アルコールや洗剤等と混ざること有害な物質が生成されることはありません。HD プロテクトは安全性が高いことが確認されています。

### 分解薬の必要性について

Q. 安全キャビネット内等の清掃に分解薬（次亜塩素酸ナトリウムや水酸化ナトリウムなど）を使用することはガイドラインで推奨されていますか？

A. ガイドラインでは「弱い推奨」とされています。分解薬（次亜塩素酸ナトリウムや水酸化ナトリウムなど）は一部のハザードドラッグの不活性化に有効ですが、「弱い推奨」とされた理由は、金属腐食や人体への影響（喘息発症のリスクなど）が懸念されるためです。その点、HD プロテクトは様々な安全性試験をクリアしており安全性が高く、先述の通り金属腐食性も軽微ですので安心してお使いいただけます。

Q. 閉鎖式接続器具を導入していれば分解薬は不要ですか。

- A. 抗がん剤曝露調査の結果、閉鎖式接続器具を導入している施設でも抗がん剤曝露が確認されています。複数の対策を組み合わせることで曝露対策の効果を高めることができますので、日常の清掃に分解薬も併用することをおすすめします。

参考文献：がん薬物療法における職業性曝露対策ガイドライン 2019 年度版，日本がん看護学会、日本臨床腫瘍学会、日本臨床腫瘍薬学会，2019 年。

以上

2020 年 11 月 2 日

2021 年 2 月 10 日改定

2021 年 11 月 9 日改定

2022 年 5 月 25 日改定

2023 年 7 月 10 日改定